

有限会社石川鉄工

■事業

特殊自動切断機導入による、プラント向け建築付帯製品生産能力の向上

■対象類型

ものづくり技術 精密加工

■導入機械装置

アマダ社製バンドソー HK400RA

☑ものづくり技術 □革新的サービス

顧客ニーズの短納期化を実現 特殊自動切断機の導入で

県内有数の設備 生産能力の高い一貫生産

【経営理念】

お客様の創造を形にします。1個から量産まで可能です。曲げ、溶接など各要望に対応いたします。短納期、高品質な製品を提供します。

有限会社石川鉄工は、平成23年に現在地に移転。3600㎡という広い敷地で業容拡大を図ったことにより、工場面積、ヤード面積、生産設備において、島根県内の競合他社と比較し、圧倒的な生産能力を有し、素材切断から塗装までの一貫生産を実現。短期納入、高品質な製品を製造・販売している。

主要な取引先は、山陰両県の企業をはじめ、電力会社など幅広く、特に株式会社タクマとの継続取引により技術力を付けることができ、同業他社と差別化を図っている。

板厚10mm、長さ3mの鉄板が切断できるシャーリング切断機、加工長さ700mmまでのH鋼を切断できるバンドソー切断機、長さ3mの鉄板を曲げるプレスブレーキ機など、県内の同業者が保有していない大型設備を多数取り揃えている。

石川鉄工で加工できない建築付帯製品や製缶製品は、県内でも加工できないものがほとんどで、自社加工できる仕事の範囲は幅広く、生産能力が高い。

また、製品に不可欠な鉄骨工事、溶接において、従業員の技術向上に積極的に取り組み、溶接の各種資格を取得させるなど、機械に頼らない技術の研鑽にも努めている。

さらに、広大な工場面積と製品ヤードを保有しているため、完成品を大量に一時保管でき、顧客の要求するタイミングで製品をタイムリーに提供。生産の平準化が可能であり、工場のローコストオペレーションを実現している。

高品質加工と生産能力のアップ 新規採用で技術の継承と蓄積図る

近年は県外のプラント関連の受注に力を注いでいることから、ロットの大きいプラント向け建築物(階段、手すりなど)の受注が増加している。手すりなどの小径パイプは、対応する機械が汎用機のため、大量数を1本1本手作業で切断。プラントやマンションの建設・修繕が活発化する中で、顧客から更なる短納期化要請が強まり、対応できない場合は、広島県や岡山県に仕事が流出している現状がある。

また、従業員の高齢化が進み、社内の技能継承や技術蓄積に向け、ハード面の整備を進めると同時に、若年層の新規雇用も急務だ。

そういった問題点を解決するために、本事業で特殊自動切断機「アマダ社製 バンドソー HK400RA」を導入。高品質加工と生産能力のアップ、新規採用による社内の技能の継承と技術蓄積の教育体制が図られた。



代表取締役社長 石川 澄男



1

1、2 導入した特殊自動切断機「アマダ社製 バンドソー HK400RA」

3 切断した鉄材



2



3

短納期化でコスト削減も 山陽方面からの受注も視野に

機械の導入で取引拡大が期待されるのはアパート・マンションなどの建設市場と、原子力発電所およびプラントメーカーであるが、原子力発電所工事については、原発再稼働の条件としての設備の建設や安全対策が求められたため増えている状態にある。また、東日本大震災の復興需要、民間の設備投資の増加、アパート・マンション建設等により業績も徐々に回復している。

本事業で導入した高速で切断角度の調整が可能なバンドソーは、独自の改造により、通常45度の対応角度を60度まで拡大、さらに自動定寸仕様(通常機は手動)にした。独自仕様の切断機を導入することで段取りを無人化でき、工場全体の処理能力が向上。これまで50時間(5日)かけていた切断作業を10時間(1日)に短縮することができ、その時間を溶接・組立て・塗装といった手作業工程に回すことができるようになった。さらに、従業員の残業時間の削減により、コスト削減にもなっている。

これからもオペレーターの育成を進め、技能継承に向けて若年従業員を採用。ベテラン従業員の知識・技能を体系的かつ確実に伝えられるよう、人材育成にも取り組んでいく考えだ。

今後は本事業の成果を生かし、顧客ニーズの短納期化に対応。島根県の仕事を地元に取り込み、将来的には広島県、岡山県からの仕事を引き受けることを視野にいれ受注件数増加を狙う。

■Company Data

有限会社石川鉄工



石川鉄工

代表者名：石川 澄男
設立年月：昭和61年1月
資本金：3,000千円
従業員数：8人
業種：職別工事業、鉄骨工事業
住所：〒699-0105 島根県松江市東出雲町内馬 1416-1
電話：0852-67-2816
FAX：0852-67-2817